

高等教育政策の構造的な大転換の必要

日本私立大学協会 常務理事・事務局長 小出 秀文

- 日本私立大学協会は、1946年に発足をした。第二次世界大戦敗戦後、平和で民主的で自由な国家を作る、そのために、自主性を持ってなる自由をベースにした旧制の私立大学35校、オブザーバーとして5校の40校ほどで発足をした。
- 原点は、新しい日本を平和で自由で民主的な国家にするために、最もふさわしい設置形態であると先達は考えた。私立大学は自主性を持ち、社会の、時代の要請にこたえていくことにある。
- 今日の日本が置かれている状況はどうであろうか。今こそ、多様な価値観を迫及する私立大学が重要である。
- 日本私立大学協会の職員として、北海道から九州・沖縄まで7つの支部に足を運んで各大学から伺ったことから、政策にしていくことを考えている。そのため、アカデミックに分析を行ったり、エビデンスベースはしっかりと後付となる。政策提案を考えてまいりたい。
- 1校たりとも加盟大学からは経営難の大学は出さないという思いで毎日を過ごしている。
- 高等教育政策は多岐にわたるため、原点をもう一度見つめなおす。そのため、私学振興団体として、国費の投入、優遇税制の創設・税制改善の2点から現状を見ている。
- 私立大学の公財政支出は経常費補助金3200億円弱で学生一人あたり約17万円である一方、国立大学の運営費交付金は約1兆1千億円であり（施設設備費を除く）、学生一人あたり約217万円という数値になる。この格差をどのようにして改めていくか、目下高等教育改革の最大の課題である。
- 国立大学、公立大学、私立大学の教育費に係る費用については、国は同様の支出をしていただけないか。この一点を動かしていくことで、日本の高等教育政策は大きく変わっていくのではないと思われる。
- もちろん、私立大学のガバナンスの充実・強化、公的な機関であるため、情報公開などは一層公開していかなければならない。
- 公財政の支出としての目標をまず明確に打ち出し、私立大学も自主的な取り組みの中で情報公開やガバナンスの充実・強化を進めていかなければならないであろう。
- その中で、600の私立大学はそれぞれ、規模も歴史も運用の形態も違う。多様な私学の自主的な取り組みを画一的な行政をもって縛るようなことがあってはならない。これは、私立大学協会の創設の原点として肝に銘じておかなければならない。
- 地方の疲弊が言われているが、その立て直しに地方の私立大学を活性化させていく必要があるといわれている。
- 東京都心部の大学は、新增設は抑制という答申がまとまってきている。基本的には良

いと思うが、ここに重要な問題が存在している。

- 私学の自主性、私学の創意工夫の取り組み、私学のダイナミズムなどをマイナスに作用させることがあってはならないという点である。しかし、同時に今日的な課題は地方の中小規模の大学を一層地方創生の原動力に使うべきである。これはこれで、ある意味限定的な政策、アフターマティブアクションのようなことであるが、提案していく必要があるであろう。その両方があるからこそ今回の政策が前進していくのではないか。
- 今日の我が国が直面する重大な目標、問題をクリアしていくには、皆で知恵を出し合わなければいけない。その知恵だしは、国立大学、公立大学、私立大学という設置形態を設置者負担主義の原則の改革を含めて、考える必要があると思われる。
- これらの政策を考えるための仕組みであるが、かつて私立大学協会創設の当時、私学の憲法ともいえるべき私立学校法を作った時に、私学人の手による、私学人の知恵による私学政策、私大政策を考えることで、私立大学審議会が作られた。しかし、これはどこへ行ったのかがわからない。私学がこのような危機的状況の中で、こうした私立大学の政策を語れる場所を明確に定める、つまり、私立大学審議会を復活させることも含めて、検討の形を作り上げなければならない。
- 国の助成を巡っては、教育費のファンディングについて、国立大学も公立大学も私立大学も同じであることをもう一度考え直す。
- 国立大学の医学部の授業料が53万円で、私立大学の医学部の授業料は平均で300万円、400万円といわれている。このようなことについて、どう思うか。国立大学の授業料は授業料ではなく、営造物の使用料であることを強く認識するべきである。このあたりにも問題がある。
- このほか、多くの課題がある。学校法人の優遇税制をめぐっては、学校法人が教育に使用する土地、建物等については非課税という画期的な優遇税制がとられている。これを守りながら、学校法人財政の基金形成、資産の運用、健全なる財政の確立のために、この優遇税制の思想を再確認しながら、税制改善を通じた私学振興を改めて作り上げていく必要があると考えている。